

〈隷書〉

翠緑 竹楊 近浦 堪垂 好韻 琴釣

小畠秋聲先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉

翠緑 竹楊 近浦 堪垂 好韻 琴釣

清原大龍先生書

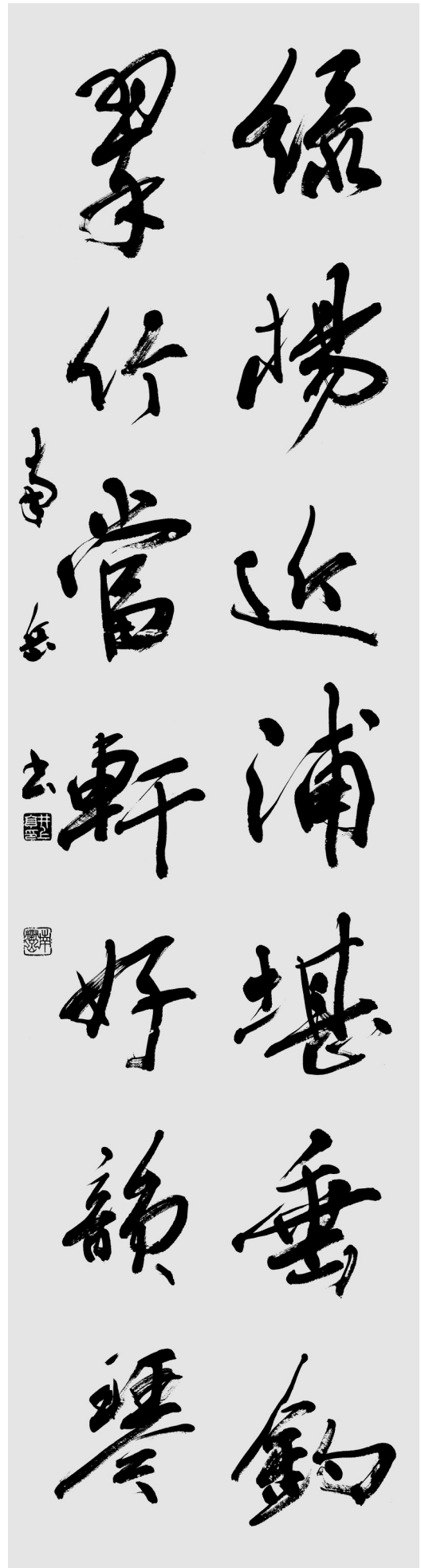
□ 緑楊浦に近く釣を垂るるに堪えたり

翠竹軒に当たり琴を韻ずるを好む

(路半千)

次号予告「徑柳拂雲緑」

〈行書〉

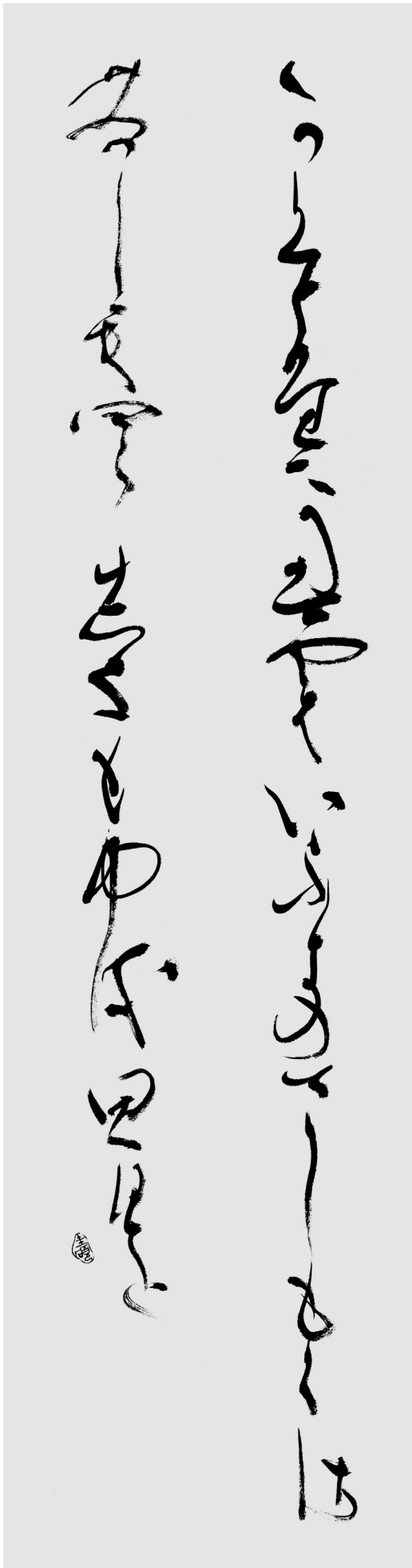


井之上 南岳先生書

▽青々たる楊柳の入江に近く魚を釣るによいが、青々たる竹が軒に接して琴をひくにもよいのである。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 可^かく^と堂^{たに}二 盈^えや^者い^はふ^き支^さの さしも^さく^さ佐^し散^さしも^し四^しら^な志^なも^もゆ^る流^ひ思^ひ日^をを
かくとたに えやはいぶきの さしも草 さしもしらしな もゆる思ひを

△百人一首五十一▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

淳粹之德戎晉歸
仁九皋唱於名嚮

▽ 爨宝子碑

淳粹之德戎晉歸仁九皋唱於名嚮

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

菜の花の黄なる籬落のなかの道
たどる心地に遍路図を見る

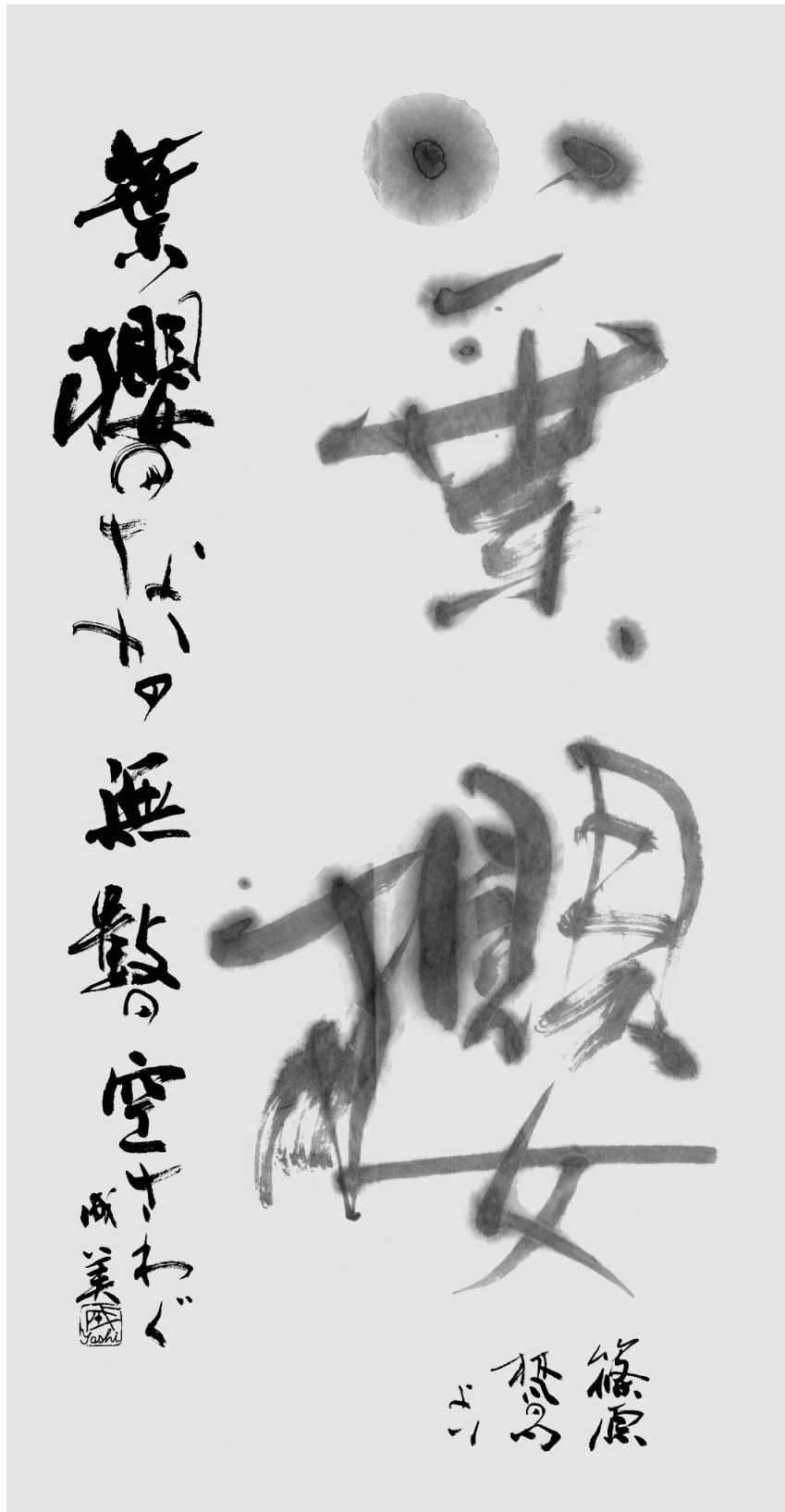
□（吉井勇のうた） 菜の花の黄なる籬落のなかの道 たどる心地に 遍路図を見る

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課題ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折½縦のみ） — 5月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□「葉桜」 篠原梵の句 葉桜の なかの無数の 空さわぐ

桜の青葉からのぞく無数の空の断片が騒いでいるかのようだ。初夏のみずみずしい光景を淡墨と濃墨で表現してみたのだが…。みなさんも、参考手本に捉われずに、色々な表現をしてほしい。

吉 田 成 美 先 生 書

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） — 5月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 虚^{きょ}心^{しん}

先人観やわだかまりのない、すなおな心でいることの意。
大きな運腕とゆったりとした送筆とリズムで、明るく立体感のある紙面構成を心がけました。

山 本 飛 雲 先 生 書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



□ 溪は廻りて日気煖かなり(唐・杜甫)
谷の流れはぐるぐる回って日の光は暖かい。

次号予告「萬里送行舟」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



次号予告「萬里送行舟」

吉田成美先生書

半紙随意参考手本 — 5月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 符^ふ 瑞^{ずい} (「管子」水地)
めでたいしるし。



次号予告「弦直」

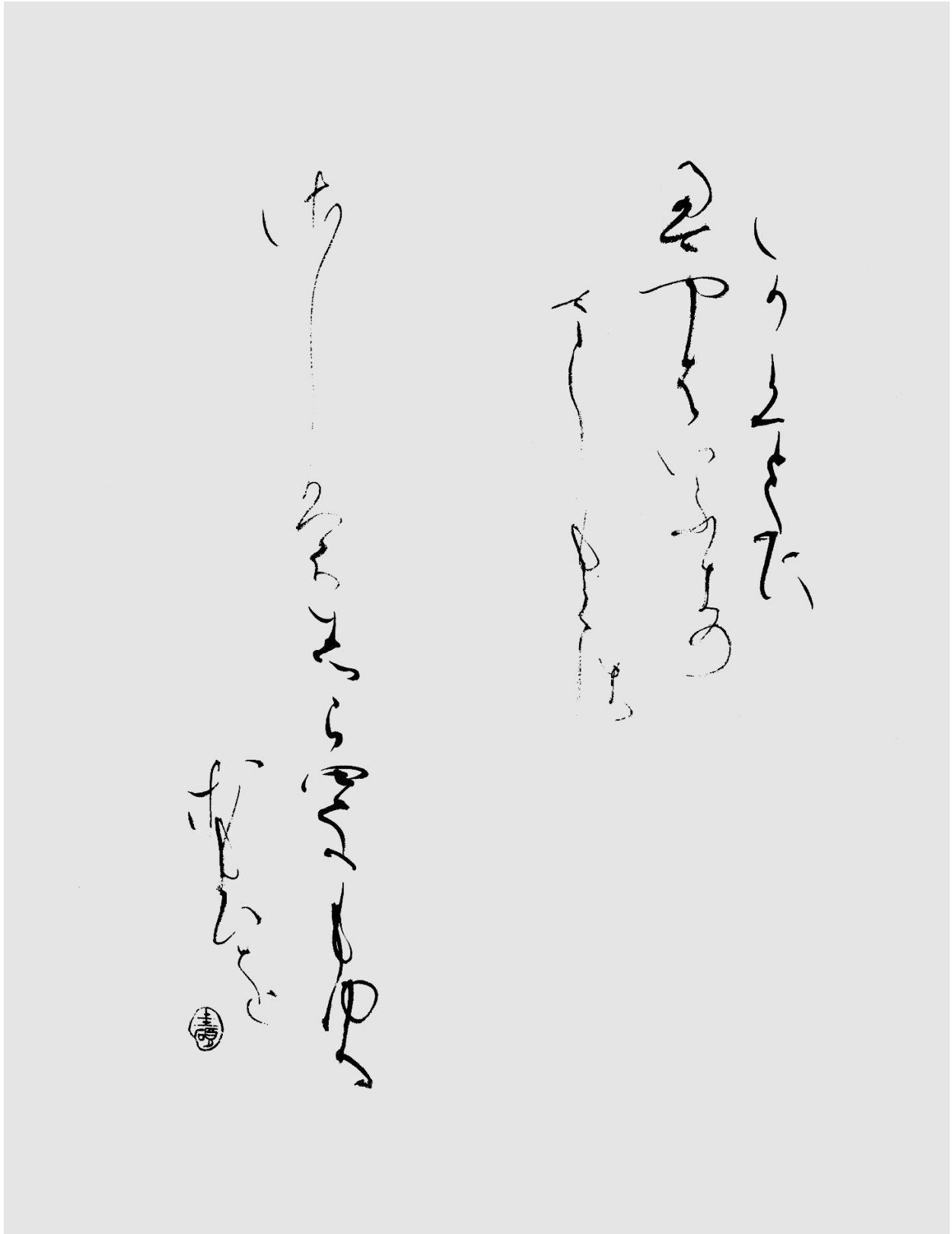
廣 瀬 蘇 水 先 生 書

半紙随意参考手本 — 5月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

かくとたに えやはいぶきの さしも草 さしもしらしな もゆる思ひを



□ 可^かく^と多^たに 盈^えや者^はい^ふ支^きの さしもく佐^さ 佐^さし裳^も志^しら^し四^しな もゆるおもひを

舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 — 5月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

葉櫻の 山できれいな 馬という △本田博子の句▽

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)



大竹美喜先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽ 多墨で、行の響き合いに注意しながら、大胆な筆致で書こう。



「淳粹之徳」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

旅行 温泉 城下町 物産館 世界遺産 歴史探訪 異国情緒 自然が創った絶景
 鈍行列車での旅 「ななつ星」が九州の観光地を周遊する

旅行	温泉	城下町	物産館
世界遺産	歴史探訪	異国情緒	
自然が創った絶景	鈍行列車での旅		
「ななつ星」が九州の観光地を周遊する			

大坪桂子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

みどりの風に鯉のぼりが泳いで
います 初節句には人形をいたさ
あうがもうございりました 最近
ハイハイも出来るように なう家の
中を元気に動き廻っています



みどりの風に鯉のぼりが泳いでいます 初節句には人形をいたさきありがとうございます
最近ハイハイも出来るようになり 家の中を元気に動き廻っています

伊良子 喜代先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

〈暮らしに役立つ書〉

さわやかな季節になりました。皆様お変わりなくお過ごしのこと、お慶び申し上げます。
先週の休日に家族で呼子へ出掛け、海岸線に沿って楽しくドライブを堪能しました。
大きな海産物の市場もあり、新鮮な魚が沢山並んでいます。たくさん、魚好きなお客さんのために思い出し、さわやかですが現地からお送りするよう手配しました。
是非、ご賞味ください。

野のある便箋に書いてみよう。

〈26 cm × 18 cm〉

紙質は自由。

・ 今月は少し漢字が多いか？とも思いましたが、書いてみました。行・草を意識すると、やゝ曲線が目立ち、逆効果な面もあるので気をつけて下さい。また連綿を意識しても、まずは一字を正確にしっかりと書きましょう。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

竹の林

小学 4 年

大きな力

小学 3 年

ちまき

小学 2 年

つり

ようねん・小学 1 年

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

読書月間

中学 2・3 年

すみれ草

中学 1 年

花の小道

小学 6 年

広い草原

小学 5 年

秋永春霞先生書

△条幅 1/4 四尺画仙紙半折 1/4 : 68 cm × 17・5 cm ▽

□ 書き始める時は、筆にしっかりと墨をふくませ、ほ先をきれいにことのえましょう。

きちま

小学二年

次号予告「あさり」

□ ふではかるくにぎって、ふでだけをまわらずに、うで全体でのびやかに書きましょう。

つり

ようねん・小学一年

次号予告「かに」

坂 元 紫 香 先 生 書

□ 中心に気をつけ、たて画と横画の交わる位置に注意し、左右の払いもゆつくりと。

林

小学四年

次号予告「雲」

□ 始筆はしっかりとおさえ、二画目はや、たてぎみに、右の払いはゆつくり強くのびやかに。

大

小学三年

次号予告「月」

吉 田 成 美 先 生 書

小学 五年

次号予告「仲間」

草原

□ 字形をや、縦長に保ち、「原」の中の部分を少し右にずらして書きましょう。

小学 六年

次号予告「街角」

道

□ 「しん」の「し」と「首」の位置に注意し、最後の右はらいをのびのびと長く書きましょう。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「空想」(行書)

れすみ
れすみ

□ 平仮名はや、直線的に、漢字と平仮名の調和を考え、明るさのある作品にしよう。

中学二・三年

次号予告「情趣」(行書)

読書

□ 行書の点画の省略や方向、形の変化と筆順の変化(書の縦画は最後)に気をつけて書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学二年

段 級	
氏 名	
サ サ サ 花	を
ノ イ ー 仕 休 休	た
	ね
	に
	を
	く
	え
	い
	よう
	う
	を
	た
	ん
	ぽ
	ぽ
	は
	花
	と

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

う る ふ ー ヤ あ ナ な	段 級				
	氏 名				
		が	っ	ろ	く
			し	を	ま
		あ	ま		さ
		い	っ	あ	ん
		て	た	け	が
		い	。	ま	、
		た	あ	し	ふ
		ー。	な	た。	く

こふふー十あ
ナナナ

小学四年

千 舌 舌 辞 辞 辞 辞

(て)

一 曲 曲 曲 曲 典

(ん)

米 米 米 米 類 類 類

(る)

川 川 川 順 順 順

(ん)

⑥まつすく下におろす

漢字辞典では、漢字を、同じ部分をもちかつかどつかで分類し、画数の少ないものから順にならべています。

⑥左右に長く書く

段 級	
氏 名	

千
舌
舌
辞
辞
辞
(じ)

一
口
曲
曲
曲
典
(てん)

ソ
来
来
来
類
類
類
(るい)

川
川
川
順
順
順
(じゅん)

小学三年

サ ハ サ 落 （お）	仁 仁 何 何 一 十 土 老 考	◎はねる ◎右から左へはろう ◎はねる
段 級		
氏 名		
相手にきちんとつたえ るために、落としてはい けないことは何かを、友 だちと考えましよう。		

一 十 廿
落 落 落
(お)
／ 仁 仁 何 何
⑤はねる
一 十 土 考 考
⑥右から左へはらう
⑦はねる

坂元紫香先生書

小 学 六 年

わたしたちは、日々喜んだり、悲しんだりしています。過去をふり返つてくやんだり、将来に対して、少しのことで希望をもったり、反対に不安になつたりします。

小 畠 秋 聲 先 生 書

小 学 五 年

新聞には、投書や小説、料理のしょうかいなど多くのコーナーがある。あなたのお気に入りのコーナーを見つけよう。新聞を開くのが楽しくみになるね。

一 般 (A)

魚とは、逃げた時から成長が速まる	生物であるというジョークがある。	逃した一匹ほど大きいものはない。悔	しさが想像を膨ませ、人に話すたび	に両手の間隔が広がってゆくからだ。
段 級				
氏 名				

(この課題はA・Bいずれか一点のみとする)

※15%拡大で原寸大になります。

(この課目は $A \cdot B$ いずれか一点のみとする)

※1.2%拡大で原寸大になります。

中学

文化が生まれ、伝わっていく過程を、
 自然な状態で観察することは難
 しい。研究者によってある現象が
 発見されるのは、既にそれが文化と
 して広がったあとのことだからだ。

小 畠 秋 聲 先 生 書